

令和7年度与論町海洋教育グランドデザイン

誠の教育

「島だち」後の社会を生きていく力の育成

与論島の
活性化・持続可能化

学びに向かう力・人間性等

【島立ち】

与論島の人々との関わりの中で自己肯定感・自己有用感を高めるとともに、ねばり強くしなやかに探究する心を育む。

知識・技能

【島発ち】

与論島の強みや問題点について理解し、それらをつなぐことで与論島の概念を形成している。

思考力・判断力・表現力等

【島建ち】

与論島の強みや問題点から自分なりの問いを見いだし、仮説を立て、自分にできることを実践する。

島だち
の力

地域と連携した
協働的な探究学習



【与論町の海洋教育の目標】

海と人との共生に係る見方・考え方を働かせ、与論島の海とくらしの課題について探究することを通して、「島だちの力」を身に付ける。

海と人との共生に係る見方・考え方

高校生

総合的な探究の
時間「ゆんぬ」
での学び

中学生

海洋教育科
「ゆんぬ学」
での学び

小学生

海と人に
親しむ

与論の海や与論に
生きる人々の魅力を、
豊かな感受性をもつ
て捉える。

海と人を
つなげる

海に囲まれた与論の
自然や文化と、そこに
生きる人々のくらしを
関連付ける。

海と人を
守る

与論の海の環境保
全や、離島である与
論のくらしの持続に
ついて考える。

海と人を
生かす

与論の海や与論に生
きる人々を、よりよい未
来を創造するための資
源としてとらえる。

与論町の海洋教育において目指す学びの姿

＜小学校卒業時まで＞ 与論に生きる人々との関わりの中で与論島の強みや問題点について気づき、探究を通してその概要を理解し、学んだことや行動したことを自分なりの言葉で発信することができる。

＜中学校卒業時まで＞ これまでの学習を振り返り、探究のプロセスを活用しながら与論島の強みや問題点に迫り、与論に生きる人々との関わりの中で、自らの生き方や進路について考えることができる。

＜高校卒業時まで＞ 与論島に関する広範な知識をもとに探究を深め、社会的評価を受けることにより、自己肯定感・自己有用感を高めるとともに、ねばり強くしなやかに探究する心を身に付ける。

＜高校卒業後～＞ これまでに身に付けた「島だちの力」を生かし、それぞれの社会を生き抜くことができる。